

令和7年度第9回霞ヶ浦自然観察会実施結果

テーマ：歩崎で野鳥を観察しよう

日時： 令和8年3月7日（土） 10時～12時

場所：歩崎湖岸（かすみがうら市坂）

講師：川崎 慎二先生（日本野鳥の会茨城県幹事）

内容：冬から春へ季節の移り変わる3月上旬は、冬鳥が繁殖地のシベリア方面へ帰る時期であり、霞ヶ浦周辺ではカモ類やツグミなどがその準備をしています。また、美しい夏羽に変身したカモ類や希少種のカンムリカイツブリが見られるチャンスでもあります。ウグイスなどのさえずりを聞きながら、水辺に集う野鳥たちを観察しました。

参加者：16名（大人15名、子ども1名）

担当職員：6名

パートナー：5名

結果：この観察会では、歩崎湖岸（かすみがうら市坂）とその周辺で、野鳥の観察を行いました。この日は天候に恵まれ、暖かい日の下で楽しく観察することができました。

まず、湖岸に出る前の草藪ではウグイスやカワセミの鳴き声が聞こえ、小径にはツグミやアオジがえさをついばみ、低木の小枝にはスズメ、キジバトが止まり、モズのオスが枝にさしたトカゲをメスが捕食するという珍しい行動を見ることができました。

湖岸に出ると、少し離れたところにある石を積んだ小さな島にセイタカシギ、ハマシギ、カモ類がゆっくり休んでいる様子が見られました。この地域でセイタカシギが見られるのは大変珍しいとのこと。水面ではカンムリカイツブリやホシハジロ、スズガモなどが潜水してエサを捕っている様子を観察できました。潜水の方法や潜水時間などが種類によって異なることを教えてもらいました。ちょっと離れたやや沖の消波堤にはカワウやオオバンの群れが休んでいる姿を見ることができました。

ゆっくり湖岸での観察をした後帰り道に、芝生や草藪などにいる鳥を観察しました。芝生でえさをついばむムクドリ、木の枝にとまったシメやジョウビタキを観察することができまし

た。遠方でコジュケイが大きな声で鳴いていました。

この観察では、2時間の観察時間の中で、33種の野鳥を観察することができました（さえずりのみの観察を含む）。参加者全員大変満足した野鳥観察会となりました。講師の川崎先生には、わかりやすく興味深い解説とともに、何種もの鳥をフィールドスコープに入れて見せていただき大変ありがとうございました。

観察できた、33種の野鳥のリストを下に示します（五十音順）。

アオサギ、アオジ、ウグイス、オオバン、オカヨシガモ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カンムリカイツブリ、キジバト、コジュケイ、シメ、ジョウビタキ、スズガモ、スズメ、セイタカシギ、セグロカモメ、ダイサギ、ツグミ、トビ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハマシギ、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ホシハジロ、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、モズ、ユリカモメ。

令和7年度第9回霞ヶ浦自然観察会



始めのあいさつ



小径に現れたツグミ



石積みの島で休むセイタカシギ



やや遠方の消波堤で休むカワウやオオバン



獲物を狙って旋回するミサゴ



芝生でえさをついばむムクドリ



小枝にとまったジョウビタキ



川崎先生によるまとめの解説